

# BMS🍓4月例会のご案内

—125th Bungeiken Metropolis Seminar—

🌸2026年4月5日(日)9:30~12:30

🌸大東文化会館 K404 研修室 (オンライン併用)

東武東上線池袋駅より約 15 分、「東武練馬」駅下車歩4分(大東文化大学板橋キャンパスとお間違いないように。4P に経路図掲載)

🌸テーマ:4月教材、これだけはおさえよう

「ふきのとう」(工藤直子/光村図書出版2年)

報告:松野真帆さん(神奈川文芸研 神奈川学園精華小学校)

「白いぼうし」(あまんきみこ/教育出版ほか4年)

報告:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

「銀色の裏地」(石井睦美/光村図書出版5年)

報告:山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大)

🌸参加申込 (ハイブリッド方式)リアル参加は先着40名とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。現地参加、オンライン参加共500円

参加申し込みは <https://bms202604-bungei-tokyo.peatix.com/> から一週間前には申し込みができるように準備します。問い合わせは事務局・西さんまで

📍文芸研東京学習会 (BMS) 連絡先: 上西 ✉️ [nobu.uenishi@outlook.jp](mailto:nobu.uenishi@outlook.jp)

次頁から[アホウドリ](#)信天翁通信 ↓

## 文芸研東京学習会(BMS4月例会)のご案内

—125th Bungeiken Metropolis Seminar—



📍今年も訪れようと思っている幸手市権現堂堤公園

🌸3月1日(日) BMS3月例会当日朝6時に事務局・西さんから「東上線が止まっています。どうしますか。」と電話。調べると信号機の不具合で上板橋～川越市まで不通とのこと。大東文化会館最寄り駅・東武練馬駅の一駅手前でストップ。学習会場から一番遠い西さんはオンライン対応の現地準備があり、出発の時刻が迫っている。西さん、山中吾郎さん、レポータの秋山さんと相談し急遽完全オンラインに変更。秋山さん、西さんに準備していただいた現地参加者用の資料が無駄になって申し訳なかったけれど、迅速で的確な西さんの働きで出席者へのURL等の配信・告知等も漏れなく行われ、その実務能力の高さに改めて感服した次第。

🌸3月例会のメイン報告は秋山亮介さん(千葉文芸研・流山市小学校)の「モチモチの木」(斉藤隆介・教育出版3年ほか)。今夏大阪大会での報告を視野に入れての実践を報告していただいた。インフルエンザが流行し、秋山さん自身も罹患し1週間近く出勤できず、授業は3場面までの報告でした。今回の秋山さんのレポート報告は、前回22年の実践をふまえ、特に山場4場面の〈「モチモチの木に灯がついている！」〉の豆太・医者様の科白を受けて、5場面冒頭の逆接〈でも〉の押さえ、じさまの科白〈勇気のある子どもだったんだからな〉の解釈の秀抜さが際立っていました。(直接的には霜月二十日の晩の豆太の行動を指

すが、秋山さんは「勇気のある子どもになった」ではなく〈だった〉の過去形に注目し、じさまの慧眼と読む解釈) また、1 場面最後のおとうやじさまの勇気ある姿は、4 場面の〈なきなき走〉る豆太の姿と響き合い、〈やさしさ〉(愛) が〈勇気〉ある行動として顕在化する——形象の相関・全一性を読むことの重要さが確認できました。また、5 場面最後の一文〈——それでも……しょんべんに起こしたとき。〉の《虚構の方法》としての構成の問題と典型化にも言及し、「あなたは、あなたで大丈夫」というメッセージとともに、仏教哲学の「諸法実相」という見方・考え方は現状を無批判に追認することではなく、条件(縁)によってどの子も変革の可能性を持っていると解した方が広がりが出るという指摘もありました。上西の詩「生きる」(谷川俊太郎 光村図書出版6年)は資料提供という形で終わりましたので、質問・ご意見がありましたら上西までメールをお願いします。

🌸 新年度の4月例会は欲張って4・5月教材3本立ての内容を計画しました。「ふきのとう」(工藤直子 光村図書出版2年)を松野真帆さん(神奈川文芸研 神奈川学園精華小学校)に、「銀色の裏地」(光村図書出版5年)を山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大)にお願いしました。「白いぼうし」(あまんきみこ 教育出版・光村図書出版4年)は上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)が報告します。「国語っておもしろい!」と子どもたちも教師も実感できる——深い学びの授業化のポイントが学べる学習会内容です。

🌸 4月例会は4月5日(日)9時30分から大東文化会館にてハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は先着40名とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。皆様の参加(特に現地参加)をお待ちしています。

## 記

1. 期 日 2026年4月5日(日)9時30分~12時30分

現地参加+オンライン参加可のハイブリッド方式

2. 会 場 大東文化会館 K404 研修室 東武東上線池袋駅より約15分「東武

練馬」駅下車歩4分(大東文化大学板橋キャンパスとお間違いのないように)

3. 内 容 新学期4月教材、これだけはおさえよう

報告①:「ふきのとう」(工藤直子/光村2年)

報告:松野真帆さん(神奈川文芸研 神奈川学園精華小学校)

報告②:「白いぼうし」(あまんきみこ/光村・教出4年)

報告:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

報告③:「銀色の裏地」(石井睦美/光村5年)

報告:山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大)

4. 主催・参加費・申し込み 東京文芸研/現地参加・オンライン参加共500円

参加申し込みは <https://bms202604-bungei-tokyo.peatix.com/> から

(一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ 事務局・西さん)

以上

🌸例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得——視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23年夏の山口大会、24年の徳島大会、25年の千葉大会、各地の「国語の教室」や講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びをと願っている方、教職をめざしている方、青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

## 例会会場案内 📍大東文化大・板橋キャンパスとお間違いなく



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7駅（約15分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩3～4分／学習会会場は3階か4階研修室（40人収容）、9時から13時まで借りています。エデュカス東京・麴町より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、引き続き現地参加にご協力ください

## インフォメーション

▼文芸研60回記念大会（大阪大会）プレ・オンラインセミナー特別企画 3月21日（土）20時～21時30分 特別企画④「自ら変革主体となる」無料 講師：徳水博志さん（宮城文芸研）

▼今年度前期のBMS 例会予定（原則第1日曜日）9時30分～12時30分 大東文化会館（東武練馬駅下車）時間・会場は同じ

・4月5日（日）9時30分～12時30分 大東文化会館

・5月2日（土） 6月7日（日） 7月5日（日） 8月1・2日 大阪大会

▼東京文芸研大阪大会レポート検討会 日時は後日連絡します。オンライン

▼文芸研春の実践研 5月9・10日 神戸市中央区文化センター 大阪大会分科会全レポート検討／代表者会議

▽「文芸教育」（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）最新138号 特集「教科書の詩教材を豊かに深く授業する」4月刊行予定／137号 特集「国語の授業で平和学習を／136号特集「今こそ平和教育を一戦後80年の節目に」1700円＋税 学習会場でも用意しています。年間購読をお願いします。

▽光村版・新教科書指導ハンドブック（学年別）発売中／新読書社より各学年1700円＋税 セット割引有／この学年でどんな〈もの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第1弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第2弾「一つの花」・第3弾「おおきなかぶ」・第4弾「わらぐつの中の神様」・第5弾新刊「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にでき、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各1000円＋税



文芸研授業シリーズ 新読書社刊 1000円＋税



「文芸教育」新読書社刊 1700円＋税



### 「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

メビウスの輪のことを考えながら手綱（たづな）こんにやく作り手伝う（奈良／山添聡介）  
こんにやくに切り込みを入れてねじり馬を操る手綱に見立てた和食の飾り切り。お節料理の手伝いか。自己を律する・縁を結ぶの意味が込められている

「栄養のあるもの食べて」と連絡が来るときいつも食べてるラーメン（横浜／上野りな）

大そうじわたしの味方お母さん（岐阜／こうけつゆい子）

彼氏とは週一ペースで会ってますサークルみたいな頻度でいいね（流山／汐入音佳）

山茶花（さざんか）や最近走っているばかり（成田／かとうゆみ）「焚き火」のくあたらうかあたらうよ

／相談しながら歩いてる）のではなく忙しいのだ

夕方にほしがきとりこむおてつだい（越谷／宮津亜紀）

自衛官の彼とデートの待ち合わせ今日の時間はヒトフタマルマル（相模原／榎本ハナ）12時

初めてのスキー合宿何回もキャリアの荷物を確認する夜（奈良／山添葵）

「健康に育ててくれてありがとう」除雪しながら泣かせないでよ（富山／松田由紀子）

家中をピカピカにして父は待つコーヒー豆を挽きながら待つ（富山／松田梨子）

姉は笑い母と私が泣いちゃった「娘さんを」の言葉を聞いて（富山／松田わか）三首併せて読

めば状況は自ずと明らかと註。小中学生の頃から松田家の歌を追いかけてきた一人として、梨子ちゃん、おめでとう！

松田家の皆さんおめでとう！

戦なき国に育ちし少年の投げるボールの放物線は（安城／唐澤うに）

ずるいよね「母さんいつもありがとう」誰も消せないそんな落書き（久留米／塚本恭子）

「ばばあ」から並びをかえたそれだけで我呼ぶ孫の「ばあば」はやさしい（栃木県／永森朋

子）「じい」が「じいじ」も同じアナグラム。語順一つを変えるだけでがらりとイメージが違う。脳トレに最適

給食もない冬休み子ども食堂に賑わいの増す慶事のごとく（千葉／岡部統子）

看病も介護もなしで逝きし母そんなにわたしは頼りなかった（前橋／町田香）

忘れられ砂にまみれたシャベルにはきちんと書かれた子どもの名前（横浜／桜田幸子）

保育園ごっこをすれば子等はみな保母さん役に立候補する（横浜／毛涯明子）

雪富士はまた雪積みて保育器に糸まとはぬ小さなあくび（富士宮／高村富士郎）

東京は冬の青空布団干し雪国に住む母を思いて（東京都／丸茂信行）豪雪の故郷の父母を詠む歌多し

「無理するな元気なうちに逃げてこい」豪雪気遣う息子の電話（北秋田／高橋充）

東京に来たらと息子言うけれど雪から家を守らにゃならん（山形／佐藤清光）

によつきりと手足寒々突き出してあと三月着る六年生の服（羽咋／北野みや子）

腕時計、カイロ、お守り、受験票、また確認し子を送りだす（奈良／山添聖子）聡介君も中学受験

子と二人頂き合って Enter を押す朝九時の合格発表（奈良／山添聖子）翌週の入選歌。聡介君も

きっと合格だろう。すごいぞ山添姉弟、お母さん。

叱っても叱りきれない母親に「ママ大好き」と孫が反撃（羽生／本間正実）

☆戦争を起こさぬひとに入れたしと投票にゆく受験生の子（和泉／星田美紀）

赤電話電報夜汽車木賃宿 清張読みつつ昭和を旅す（松山／三島誠以知）

被災地のなにごともなき元日にゆっくり味わう小半（こなかな）の酒（石川県／瀧上裕幸）能

登半島地震から2年。小半＝2合5勺。投稿氏はいつも能登半島地震と豪雨を詠む歌人。次の2首も能登半島地震関連

廃線が能登の過疎化に拍車かけ地震と豪雨が追い打ちかける（石川県／瀧上裕幸）

ここが居間ここが玄関きゆきゆきゆと長靴に踏む更地の雪を（羽咋／北野みや子）「震災に挽

（も）げたる腕を足許に冬の桜を睨（にら）める仁王」を以前に詠んでいる

五番街のマリーを歌う和尚いて山のみ寺はニコニコうふふ（静岡／首藤紘一郎）うふふは稔典

さん風

新潟の冬は雨かんむりのそら 英ヨ田散云日替わりに（新潟／太田千鶴子）エイ（翼）・ヨ（雪）・

デン（雷）・サン（霰）・ウン（雲）がくり返される雪国新潟の冬の空

猛獣がおいしい獲物を狙うごと大きい国ほど領土欲しが（敦賀／竹内展子）米露中

さまざまな屋台の匂いとにぎわいと猿沢池をぐるりと囲む（奈良／山添聖子）興福寺前の猿沢の池。東向商店街・三条通り・餅飯殿センター街と賑わう

上野駅十五番線の啄木碑会ひにゆきたくなるときのあり（東京都／唐木よし子）有名な啄木の歌碑「ふるさとの訛りなつかし停車場の人ごみの中にそを聴きにゆく」階層構造の15番線は車止めがあり行き止まり

鉛筆を穴に差し入れ緩み取り聞いた昭和のカセットテープ（観音寺／篠原俊則）

モナ・リザのジグソーパズルはめゆけばわれも謎めくピースの一つ（仙台／沼沢修）

年賀状、墓に実家に店じまい、皆んなが日本を片付けだした（横浜／西前敦子）

押しボタン式の信号青にになりゆっくり渡るモーゼのごとく（横浜／杉本恭子）

与那国にバイリンガルの人のみて風語、馬語を自在に熟（こな）す（長野県／千葉俊彦）

あがるだけ揚がりしづかな風となる（東大阪／根来譲二）

たくましき麦の芽四年ウクライナ（さいたま／関根道豊）2022.2.24 ロシアのウクライナ侵攻から4年。抵抗し続けるウクライナの人々を麥に見立てての応援歌

王様はけふも裸や虎落笛（もがりぶえ）（天童／今田進）そしてアメリカの一

急逝の友の癖字の賀状来る（川崎／古田昇）

ポピュリズムの言説に凭（よ）りかかられてすこしづつ液化してゆくわれら（西条／村上敏之）「革命歌作詞家に凭りかかられてすこしづつ液化してゆくピアノ（塚本邦雄）」の本歌取りと註

朝起きて蛇口ひねって薬飲むどちらも無いのだ見殺しのガザ（大和郡山／四方護）

ノーベルも呆れているだろうマチャドよりメダル贈られ喜ぶ人に（栃木県／川崎利夫）

平和賞他者の貰いしものでよい煮ても焼いても食えない男（船橋／佐々木美彌子）

御鷹巢の犠牲者五百余の靴を並べたニュース・キャスターが逝く（名古屋／清水芳洞）久米宏

☆お花見はだれとでも行く観梅は親しき人と静かに歩む（大阪／岡洵子）

子が親を選べたら「無期懲役」にならぬ人生歩めただろうに（佐久／五十嵐芳孝）山上徹也被告

朝起きて隣りの人が死んでいただけ語りし祖父のシベリア（横浜／佐藤仁志）

会議中にノンアルコールビール飲む新入社員ついにはあらわる（上尾／関根裕治）

戦争をひとつふたつと手毬唄（久留米／塚本恭子）

天に放屁地に放尿老（おい）の春（大野城／野分のあ）

米国にトランプのみる寒さかな（世田谷／野上卓）

失職にもろ手を挙げて歓喜する人が居るらし国会議事堂（宇陀／赤井友洸）

どの党も減税を言う選挙戦我らを甘く見てはいないか（観音寺／篠原俊則）

わが国を五十二番目の州にすると行ってくれば目が覚めるのに（半田／石橋美津子）

小文字一つ間違えられぬメールなり文字汚くも届く郵便（鳥取／山本憲二郎）

ハワイからモンゴルそしてウクライナ丸き土俵は地球をつなぐ（豊川／石黒永一）

安青錦国を背負っているなんて言われなくなる日が来るといい（出雲／塩田直也）

満面の笑みは見られず安青錦心よぎるや戦火の母国（横浜／一石浩司）

骨組みに政治家の顔設置され選挙権のない僕は見ている（北本／スピガ・ファブリツィオ）

選挙掲示板を見入る、外国人排斥ヘイト叫ぶ候補者もあり

巻貝の螺旋を解いてゆくようにぼつりぼつりと告げた身の上（大阪／栗子守熊）

椅子振子団子帷子（かたびら）螺子（ねじ）囃子（はやし）これだけあっても少子化進む（八千代／井上正則）

日本初の女性首相は支持を得て消えゆく炭火のごとき九条（福岡／夏野いづみ）熾火となって  
アメリカにメリット無ければ不要と言う国際法も平和の義務も（東京都／北條忠政）

新聞も読まずにスマホで世の動き知ったつもりの若者の未来（横浜／坪沼稔）衆院選の結果

「色あせぬ名局指せた」ひふみんは引退の時強き語りき（横浜／滝妙子）

真っ白な龍の背中や寒波来る（小山／松本喜雄）

なまめかし肌を見せ合ふ大根（だいこん）かな（横浜／菅沼葉二）

飽ほしい？みたいに訊くなインタビュアー「少子化ですが、子どもほしい？」（流山／汐入音佳）

しんしんと降る雪恋し暴風とともに真冬がどかどかと来た（酒田／冨田光子）声喩の妙

早暁を門に三尺の雪を搔（か）く古いひとり住む生きの証（あかし）に（大館／小林瞭悦）

回文は亡母（はは）お手の物「真鯖（まさば）食べた婆様（ばさま）」思い出し身をほぐす（大仙／佐々木律成）

欲しいならグリーンランドにしてやろうとアメリカ襲う強烈寒波（鎌倉／小笹岐美子）

一二三（ひふみん）も天に召されて茂吉翁と楽しみあるや鰻友（うなとも）として（東京都／上田  
国博）ひふみんの勝負飯はいつも鰻重。斎藤茂吉の鰻好きも有名。

「鬼は外」が先か「福は内」が先か揉めて日系人らに時経（た）つ（アメリカ／ダンバー悦子）

琵琶湖から春が流れるようにして疎水の花は開き始める（京都／美王孝文）

アメリカは自由と民主主義の国「だった」と書かれる孫の教科書（竹田／伊藤信一郎）

抜けがけのような選挙はしないだろう本当に信を問うつもりなら（佐渡／藍原秋子）

白雪を冠（かぶ）る墓石のならばおりしんしんしんと近づくいくさ（神戸／松本淳一）

今日もまた飲んでラーメン午前二時規則正しいこれも生活（大阪／渡辺たかき）

夫（つま）の字をひっくりかえせば¥だけど振ってもお金はでない（西条／丹佳子）

蠟梅を老梅と書き狼狽す（川越／吉川清子）

ニッポンのささくれ立つや兜太の忌（横浜／大久保秀美）2月20日兜太の忌 梅咲いて庭中に青鯨  
が来ている／生年は一九一九（いっくいっく）や兜太の忌 生年は1919年9月23日一朝日俳壇

トーストにバターをぬれば春の色（杉並区／青木公正）

胸の内語る心は半熟の卵の殻をそっと剥（む）くよう（ひたちなか／安澤美幸）

白銀の壁を蹴ってはキラキラのネームの選手が宙に舞いたり（春日／藤井量子）ミラノ・コル  
ティナ冬季五輪でスノーボード種目で大活躍

知らぬ間に雪搔きしてくれし人ありき老いの身に浸む人の情けよ（つくば／和田瑠璃）

めぐみさんの母堂九十歳の美しさ悲しき極みを長く耐えつつ（大分／岩永知子）

きさらぎの川辺に拾うひとひらの白鳥の羽毛そのピアニッシモ（福島／美原凍子）

日本一が福島県にありますよ原発廃炉がずらっと十基（郡山／寺田秀雄）  
雨不足で底が見えたる宮ヶ瀬ダム四十年前の道路が現はる（横浜／松村千津子）  
☆普通の国になりたくなどなし戦（いくさ）せぬ特別な国であり続けたし（沼津／山本昌代）  
保守を押し若人ふゆる此の国の今此の時に吾は老いゆく（東京都／斑山羊）  
杣人（そまびと）が熊を崇めて熊もまた人を怖るる昔思へる（相馬／根岸浩一）杣人は樵（きこり）  
声は風 人の六割水らしく君に揺らめく心の湖面（筑後／近藤史紀）  
そのひとのどこが好きだかわからずに全部が好きと言えるのが恋（札幌／住吉和歌子）  
民意とはかくも鋭角に曲がるのか瞬きもせず朝刊を見る（和歌山／貴志真澄）  
常に使ふシルバーカーも氷にすべり盛岡の路選挙を拒む（盛岡／堀米公子）  
明るすぎる日曜を終えて軍服はマクドナルドのロッカーにある（甲府／村崎残淳）  
壊れゆくこの国の民さむかりき（川口／青柳悠）  
選挙では得られぬ平和痛感す（栃木県壬生町／あらみひとし）

アホウドリ  
**信天翁の身辺雑感**（BMS4月例会案内）

❀ 今年1月も小田原市にある私学・旭丘高校全学教育研究集会から声を掛けていただいた。今年の国語の授業展開は漱石の「こころ」であった。論理国語を選択する学校が多いなか、文学でも論理的思考力を育むことができるという立場で定番の「山月記」「羅生門」「こころ」を読み合う授業を続けている。リライト等の言語活動で生徒の学習意欲を引き出そうとする授業が多いが、高校の文学の授業こそ《虚構の方法》を学び、《典型をめざす読み》が望まれる。手紙形式のこと、恋愛におけるエゴイズムの問題、〈先生〉と〈私〉の関係、〈先生〉と妻〈静〉の生き方への批評など問題にしたいところである。

❀ 2月7日から8日の衆院選の投票日の日、東京も雪だった。自民（+維新）の圧勝が予想され、結果もその通りになってしまった。テレビの開票特番を見る気もしなくて早々に眠る。しかし寝床の中で、いよいよ憲法が危ないと思うと眠りは浅く何度も目をさます。してやったりとほくそ笑む〈オオコオモリ〉（「ピカソの鳩になって」栗原貞子）の顔が思い浮かぶ。日本人は熱しやすく冷めやすい民族だと言われるがつくづくそう思う。そのことを「劣等民族」発言をしてテレビから干された評論家がいたが、この現象を目の当たりにするとその評論家を擁護したくもなる。帝国主義・覇権主義的な大国の横暴に世界全体が右傾化しつつあるが、日本にもその波が押し寄せてきたと捉えればいいのか。SNSを駆使した選挙戦術と「世論」誘導。コモンセンスだった反戦平和は通用しないのか。高市内閣支持率70%とか——私の周りには支持する人はいないのに…。今年の5月3日の憲法集会には是が非でも参加しないといけない。

普通の国になりたくなどなし戦（いくさ）せぬ特別な国であり続けたし（沼津／山本昌代）  
保守を押し若人ふゆる此の国の今此の時に吾は老いゆく（東京都／斑山羊）  
民意とはかくも鋭角に曲がるのか瞬きもせず朝刊を見る（和歌山／貴志真澄）  
常に使ふシルバーカーも氷にすべり盛岡の路選挙を拒む（盛岡／堀米公子）

戦争を起こさぬひとに入れたしと投票にゆく受験生の子(和泉／星田美紀)

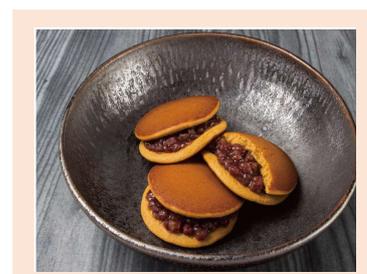
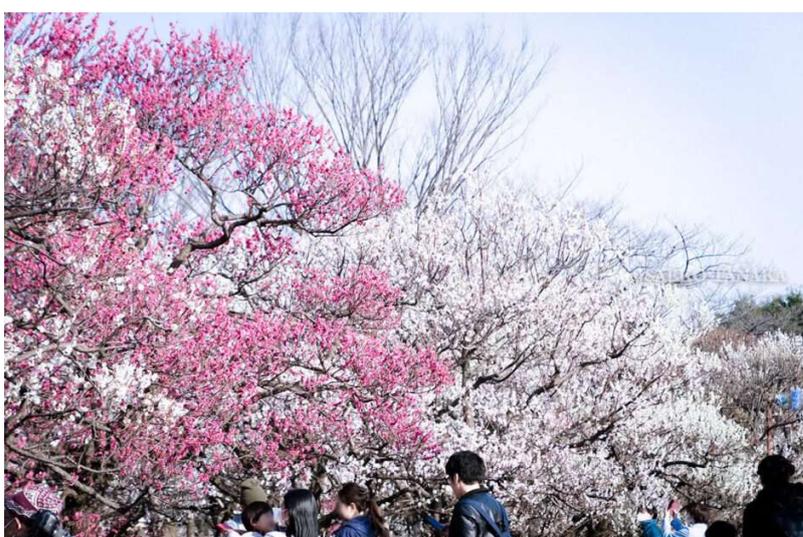
壊れゆくこの国の民さむかりき(川口／青柳悠)

選挙では得られぬ平和痛感す(栃木県／あらみひとし) (朝日歌壇・俳壇より)

🌸選挙結果に気が滅入る日々。カミさんはもっとがっかりしてニュースの度に溜息を漏らす。気分転換に今年は例年よりは観梅の回数が増えた。寒気に凜と咲く梅は今の状況に希望を抱かせてくれると感じるからだ。羽根木公園には2時間・1万5千歩歩いて5回も出かけた。曾我梅林(松田町河津桜の花見も兼ねて。もちろん丹沢の地酒・松美酉まつみどりを蔵元で購入)、府中郷土の森公園など。3月中旬には高尾梅郷に今年も出かけよう。



📷羽根木公園／隣接する梅丘図書館が立て替えられて、閲覧しながらコーヒーを飲んだり、軽食を食べたりできるスタバ風の洒落た図書館になった。(2月にテレ東「アド街ック天国」でも放映された)



📷多摩川近くの府中市郷土の森公園／府中・青木屋の「黒糖どら焼き日々是くろどら」

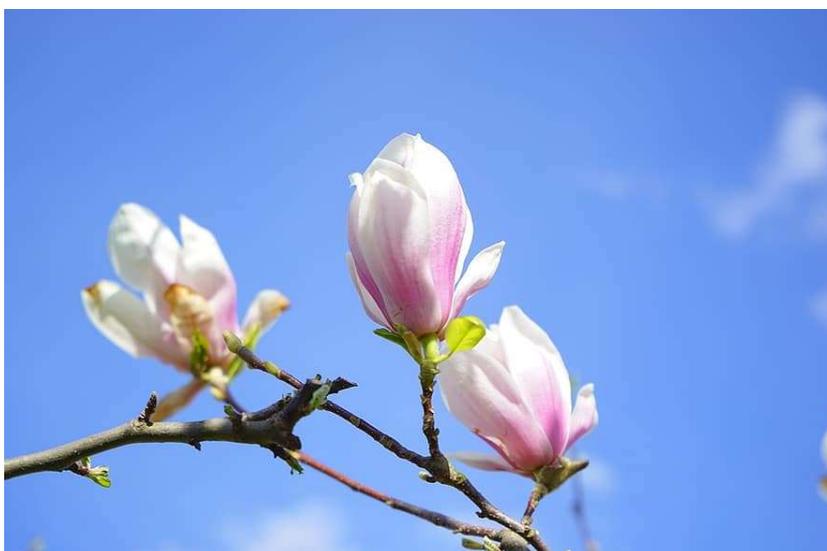


📷小田原市曾我梅林。白加賀が咲きほこり微かに匂う。減塩梅干と蜜柑を購入  
お花見はだれとでも行く観梅は親しき人と静かに歩む(大阪/岡洵子 朝日歌壇)



📷松田町の河津桜

🌸 世田谷区には河川を暗渠にして、その跡に緑道を整備した烏山川緑道・北沢川緑道などがいくつもあり格好のウォーキングコースだ。和歌山の知人から美味しい葉付きデコポンをたくさんいただき、暖かくなってきたので駒場に住む長女におすそ分けを届けがてら北沢川緑道を歩いた。北沢川緑道は小さな湧（せせらぎ）も併設し歩いていて気持ちのいい緑道だ。ユキヤナギの小さな花もモクレンの白い花もマンサクも今年初めて見た。アメンボウも現れた。小シラサギがじっと獲物を待っている。北沢川緑道付近は「下北沢文士町」としても有名。（尾崎士郎の駒込文士村や芥川龍之介の田端文士村はそれ以前から知られているが）緑道のあちらこちらに横光利一・萩原朔太郎・坂口安吾・三好達治・斎藤茂吉らの顕彰碑が建っていてそれらを読むのも楽しい。小田急線と井の頭線が交差する下北沢は、演劇・音楽・古着・カレーの街として賑わっているが、当時は今と違って新宿・渋谷とは程よく離れていて都鄙境だったのだろう。



モクレン

（詳しくは「下北沢文士町文化地図」(世田谷区作成)で検索してください。)



サンシュユ (山茱萸)



ユキヤナギ

ミモザ



マンサク

# 第60回記念 文芸研全国大会(大阪)



## 大会内容

1日目

基調提案

実践報告

文化行事 落語

記念講演1 くすのき しげのりさん

記念講演2 鈴木 大裕さん

2日目

学年別分科会 7分科会

領域別分科会 7分科会

in 枚方市

## 大会テーマ

《ものの見方・考え方》を育てる **国語教育**

—真に深い学びを求めて—



絵本作家

くすのき しげのりさん



教育研究者・高知県土佐町議員

鈴木 大裕さん

# 2026年 8月1 (土) 2 (日)

大会サポーターに登録して、学びになるオンラインセミナーやお得な情報を手に入れてください。→QRコードより



◆ホテルの予約を済ませましたか？京阪線沿線(京都—淀屋橋)が会場の枚方市に便利です。

文芸研大阪大会プレオンラインセミナー特別企画④

すべての学びが、ここにつながる。  
プレオンラインセミナー特別企画最終回。

## 第4回 自ら変革主体となる (学校と地域にて)

2026. **3.21** SAT  
20:00~21:30 (開場 19:50)

東日本大震災から15年。  
子どもの学びの欲求に応え  
子どもの心のケアをしながら、  
教師の主体と子どもの主体が生んだ真に深い学びの学習の軌跡を学んできました。  
最後の4回目は、学校と地域、ご自身もを変革してきた徳水さん自身の生き方についてです。是非、ご参加ください。



徳水博志氏

文芸研宮城サークル  
元石巻市立雄勝小学校教員  
現在 一般社団法人雄勝花物語共同代表

文芸教育研究協議会

imokonoko54@gmail.com  
大阪大会実行委員 山中尊生

感動を呼んだ①②③の  
セミナーのアーカイブ  
も見れます。

<https://forms.gle/uxW2yLgTBTkjrNR38>



◆「質の高い教師」(福井雅英 新日本出版社 2025)で紹介された徳水さんの連続講座の最終回。

子どもの認識力を育てる  
実践理論研究誌

# 文芸教育

138 2026 春

西郷竹彦 創刊  
文芸教育研究協議会 編集

実践記録

## 一学期の教材 ここだけはおさえよう

『きつねのおきやくさま』(小学校二年生)

『春風をたどって』(小学校三年生)

『銀色の裏地』(小学校五年生)

『イースター島にはなぜ森林がないのか』(小学校六年生)

曾根成子  
赤穂徳郁  
吉田 愛  
松山幸路

特集

## 小学校教科書の詩教材

「こは表現の教育」をふまえて「人間の教育」「美の教育」を  
豊かに深い詩の授業とは  
辻 恵子

詩の授業で出会いの楽しさと深い学びを  
松田真理

心の窓が開く 詩の授業  
奥 葉子

意味のある音読へと高めるために  
倉富寿史

「どきん」「夕日がせなかをおしてくる」の授業

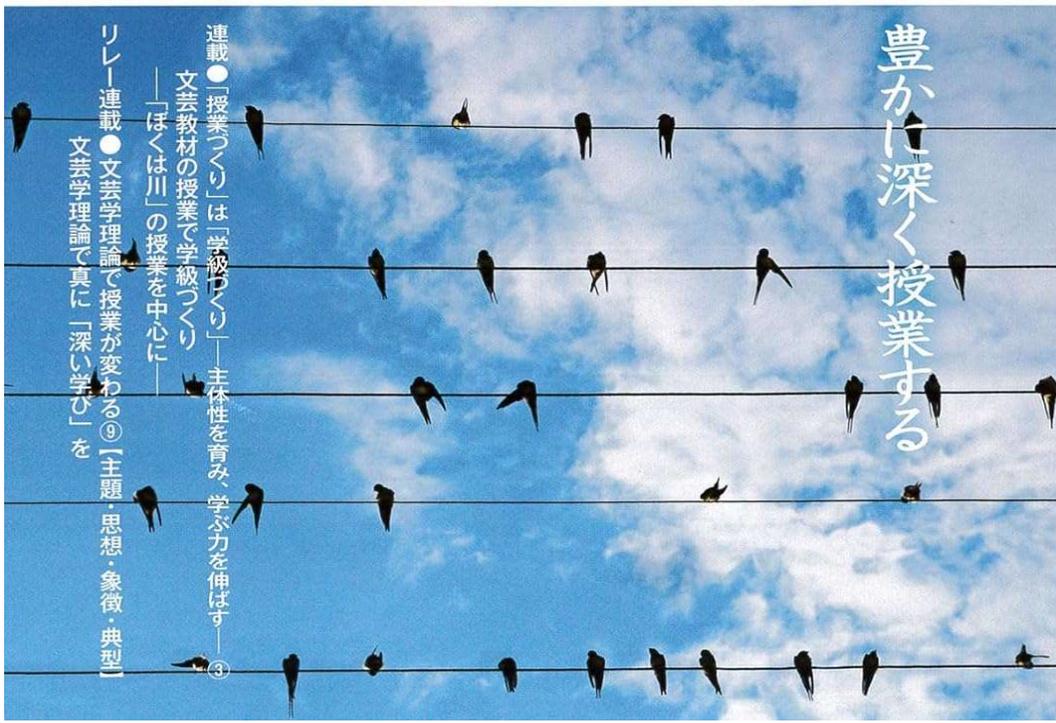
《変換》で常識をひっくり返す読み  
酒井大輔・大田晃司

高学年の詩の授業

最新号

山中吾郎……

吉田剛人……



連載●「授業づくり」は「学級づくり」主体性を育み、学力を伸ばす③  
文芸教材の授業で学級づくり  
「ほくは川」の授業を中心に  
リレー連載●文芸学理論で授業が変わる⑨「主題・思想・象徴・典型」  
文芸学理論で真に「深い学び」を

引き続き定期購読をお願いします。1700 円+税  
購入は直接新読書社へ。学習会でも用意しています。

<http://shindokusho.jp/> tel.03-3814-6791 fax.03-3814-3097

◆事務局・西さんより連絡がありましたら、26年度の会費+「文芸教育」誌の年間購読料  
(138・139・140号)の振り込みをお願いします。

文芸研東京学習会(BMS)連絡先 上西信夫

☐→ [nobu.uenishi@outlook.jp](mailto:nobu.uenishi@outlook.jp) 📱SMS→ 080-3253-4742